

第 4 次安城市男女共同参画プラン進捗管理シート(令和 4 年度)まとめ

(指標に目標値がある場合)

評価結果・・・ A：目標値を達成
 B：目標値には達していないが実績値よりも改善
 C：実績値から横ばい
 D：実績値より後退

(指標に目標値がない場合)

A：活動が十分に実施・対応できた
 B：活動が概ね実施・対応できた
 C：活動を実施したが、積み残しが多い
 D：活動がほとんどできなかった

基本目標 1 男女平等意識の促進

基本目標 1 男女平等意識の促進

指標項目		平成 28 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	評価結果	
成果指標	社会通念・慣習・しきたりなどにおいて男女平等であると考えている市民の割合	女性	9.4%	7.8%	11.7%	D
		男性	21.9%	13.8%	23.3%	D
	「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成・どちらかといえば賛成の市民の割合	女性	26.3%	11.9%	18.0%	A
		男性	33.9%	21.1%	32.5%	A

施策	A	B	C	D
(1) 男女共同参画に関する啓発活動の展開	2			1
(2) 男女共同参画に関する学習機会の提供	1	1	1	
計	3	1	1	1

基本目標 2 若年者への男女平等意識の定着

指標項目		平成 28 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	評価結果	
成果指標	学校教育の場が男女平等であると考えている市民の割合	女性	56.0%	42.4%	62.7%	D
		男性	61.0%	48.5%	65.2%	D
	子どもは女らしさ、男らしさにとらわれず、個性を尊重するように育てたほうがよいと考える市民の割合	女性	73.5%	82.2%	77.7%	A
		男性	66.0%	68.9%	76.4%	B

施策	A	B	C	D
(1) 学校等における教育機会の充実	3	2		
(2) 思いやり、認め合う意識の醸成	1			2
計	4	2	0	2

基本目標3 男女共同参画社会の実践

	指標項目	平成28年度	令和4年度	令和5年度	評価結果
成果指標	法令・条例に基づく審議会等における女性委員の割合	27.4%	30.8%	30.4%	A
	市の管理的地位にある職員（課長補佐級以上）に占める女性職員の割合	11.6%	10.1%	17.0%	D
	市男性職員の育児休業等の取得率	81.3%	92.9%	85.0%	A

施策	A	B	C	D
(1) 女性のエンパワーメントへの支援	4	1	1	1
(2) 職場における女性活躍の推進	3	3		1
(3) 家庭的責任をともに担うための環境整備	6	3		2
計	13	7	1	4

基本目標4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備

	指標項目	平成28年度	令和4年度	令和5年度	評価結果
成果指標	町内会長に就く女性の割合	0.0%	3.7%	10.0%	B
	防災会議の女性の登用率	8.0%	29.6%	30.0%	B
	保育園等への入園申込をした児童のうち、どこにも入園できなかった児童の人数	0人	0人	0人	A

施策	A	B	C	D
(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進	1	4	1	
(2) 性差を踏まえた健康づくりの推進	1	1		
(3) 参画を助ける環境の整備	4			1
計	6	5	1	1

基本目標5 人権の尊重とDVの根絶

	指標項目	平成28年度	令和4年度	令和5年度	評価結果
成果指標	DV（配偶者からの暴力）の用語の認知度	81.2%	83.3%	100%	B
	DV被害経験者のうち、「誰にも相談しなかった」ひとの割合	52.5%	50.9%	50.6%	B

施策	A	B	C	D
(1) 多様性を認め合う社会環境の整備	8	3		
(2) DVの啓発と早期対応	6	6		
計	14	9		

評価結果 集計

成 果 指 標	A	B	C	D	計
1 男女平等意識の促進	2			2	4
2 若年者への男女平等意識の定着	1	1		2	4
3 男女共同参画社会の実践	2			1	3
4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備	1	2			3
5 人権の尊重とDVの根絶		2			2
計	6	5	0	5	16

施 策	A	B	C	D	計
1	(1) 男女共同参画に関する啓発活動の展開	2		1	3
	(2) 男女共同参画に関する学習機会の提供	1	1	1	3
2	(1) 学校等における教育機会の充実	3	2		5
	(2) 思いやり、認め合う意識の醸成	1		2	3
3	(1) 女性のエンパワーメントへの支援	4	1	1	7
	(2) 職場における女性活躍の推進	3	3	1	7
	(3) 家庭的責任をともに担うための環境整備	6	3	2	11
4	(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進	1	4	1	6
	(2) 性差を踏まえた健康づくりの推進	1	1		2
	(3) 参画を助ける環境の整備	4		1	5
5	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備	8	3		11
	(2) DVの啓発と早期対応	6	6		12
計	40	24	3	8	75